

神田 来愛 国際学部 国際学科 1年

福島県立英高等学校出身
2024.4 拓殖大学入学
2025.2 韓国短期研修参加



釜山の甘川文化村

韓国短期研修を通して

【研修先の紹介について】

韓国は日本と時差がなく、気候も大きな差がないため、比較的過ごしやすかったと感じました。しかし、日本よりも肌寒く感じるため、服装の調節が難しかったです。また、日本との違いを大きく感じた部分はトイレとバスです。韓国のトイレは日本と違って紙を流すことができないトイレが今も数多くあります。実際に、寮のトイレは流すことができなかったため、ゴミ袋を設置していました。駅などは流せるトイレもありますが、利用する際には、大きなごみ箱があれば、流すことのできないトイレなので注意して利用する必要があります。そしてバスは簡単に言えば運転が少し荒いです。扉の開閉も早く、最初のうちは焦っていましたが利用するにつれて慣れました。最初のうちは焦るかもしれませんが落ち着いて自分のペースでいくことが大事だと思います。

研修先の大邱はソウルなどの中心地とは違って、多くの自然を感じることもできる場所です。そして、大邱大学校は韓国でも面積が最も大きい大学の一つであり、実際にキャンパス内を歩くとその広さを実感できました。大学の前には大きな湖があり天気の良い日は水面が輝いて見えるので非日常的な景色を味わうこともできます。大学内の様子については、私たちが訪問した2月は現地の生徒さんが長期休暇中だったため、キャンパス内にいる在校生はとても少なかったです。また、大学内の施設はとても充実していて、学食は4つあり、コンビニも学校内だけでなく大学の近くにもたくさんありました。学食だけでなく、飲食店もいくつかあったため、食事の面では困りません。しかし、それぞれの営業時間が比較的短いため、事前に確認しておくとうまいと思います。

【学校生活について】

韓国語の授業は平日9時30分から13時20分まで行われます。初日に行なわれるテストの結果によってレベルごとにクラスが分かれるので、安心して学ぶことができます。私たちのクラスの授業内容は教科書とワークブックを使いながら、単語テストをしたりペアワークを通して実際に韓国語で会話したりしました。先生が優しく教え



授業の様子

てくださるので、韓国語を履修していなかった私も、みんなのペースについていくことができました。普通は午前授業のみですが、週に何回か特別授業があり、韓国料理をみんなで作ったり、現地の学生と交流したりする機会もありました。実際に、そこで韓国のお友達を作ることができました。授業の復習については、教科書の文を音読するだけでなく、書けるようにすることも大事です。最終日にはリーディングとライティング、スピーキングの最終テストがあるので、それに向けて毎日復習することが大事だと思います。平日は授業が終わった後は、みんなで学食に行ったり、大学のまわりを散歩したり、大邱駅周辺でショッピングしたり充実した日々を過ごしました。大学の近くにあるダイソーがすごくお気に入りです。研修中何回も行きました。ダイソーで、生活用品を揃えることもでき、お土産も買えるので、ぜひ行ってみたいと思います。

【研修を通して得たことと、その成果を今後の

学生生活や社会へどのように還元するか、について】

この研修は私にとっては大きな挑戦でもありました。参加者のほとんどが韓国語を履修している中、私は独学の状態で参加しました。韓国語初心者である私が、みんなについていけるか、自分の韓国語のスキルが韓国で通じるのか、すごく不安を抱えていました。しかし、この研修を通して、韓国語スキルの上達だけでなく、自己成長と自信にも繋がったと感じています。初めての海外で、新しい環境で言語の壁を越えて人々とコミュニケーションを取る経験は自己成長を促進しました。また、韓国の文化や生活習慣を自分自身で直接体験することで異文化理解がさらに深まりました。この経験を活かして、国際人として多文化理解の促進や、語学力を実務に活かし、企業や社会に大きく貢献できる人材になりたいと思います。



感動の修了式